

ORIGIN REPORT

株主の皆様へ

第 **115** 期

中間報告書

2015.4.1 ▶ 2015.9.30

Electronics

Mechatronics

Chemitronics

Components



オリジン電気株式会社

証券コード：6513



代表取締役社長
妹尾一宏

経営理念

人類社会に役立つ
存在感あふれる企業を目指し

世界中から情報が集まり人が集まる

「開かれた企業」となろう

オンリーワン技術を磨く

「独自性ある企業」となろう

チャンスを与え失敗を乗り越え、任せることの出来る

「自己実現の場である企業」となろう

独自技術とシナジー発揮で 常に新市場を創出できる 企業を目指します

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第115期第2四半期連結累計期間（2015年4月1日から2015年9月30日まで）のご報告をお届けするにあたり、概況を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、景気は穏やかな回復基調が続いております。一方、海外経済は、先進国を中心とした穏やかな成長が続いていますが、中国経済の減速が鮮明となり、先行き不透明な状況で推移しております。

このような中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主としてコンポーネント事業の精密機構部品が前年同四半期比で増収となりましたが、メカトロニクス事業が前年同四半期比で大幅な減収となり、売上高は165億6千4百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。

利益面におきましては、営業利益10億1千6百万円（前年同四半期比36.7%減）、経常利益11億4千9百万円（前年同四半期比36.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億1千5百万円（前年同四半期比33.5%減）となりました。

私たちは独自技術とシナジー発揮で、常に新市場を創出できる企業を目指します。

なお、中間配当金につきましては、去る11月10日開催の取締役会におきまして、1株3円50銭とさせていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

02 Segment Information

セグメント別概況

エレクトロニクス事業

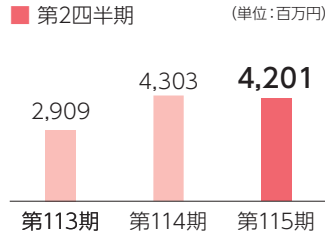
4,201 百万円 25.4 %

主要製品

電源機器: 各種直流電源機器、無停電電源機器、直流高電圧電源機器

エレクトロニクス事業の売上高は前年同四半期比2.4%減の42億1百万円(総売上高の25.4%)となりました。

スマートフォンなどの携帯端末向けのLTE投資活発化に伴い、無線基地局用電源の販売は好調に推移する一方、一部の停電対策等の用途において伸び悩みが見られました。半導体製造装置向けの高電圧電源については設備投資の抑制局面が継続し低迷しました。



メカトロニクス事業

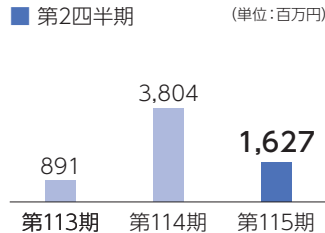
1,627 百万円 9.8 %

主要製品

システム機器: コンデンサ式抵抗溶接機、光ディスク記録膜・保護膜塗布装置(スピニングコート)、BD製造装置、光学デバイス貼合せ装置(MDB)、真空ソルダリングシステム及び各種システム機器

メカトロニクス事業の売上高は前年同四半期比57.2%減の16億2千7百万円(総売上高の9.8%)となりました。

光半導体用小型溶接機は引続き光通信市場の活況により順調に推移しました。MDB(Mobile Display Bonder)は当期受注案件が順調に立ち上がり売上に寄与しましたが、中国ローカル市場への投入は徐々に進みつつあるものの、売上には至りませんでした。



第2四半期売上高

16,564 百万円

通期予想売上高

34,000 百万円

ケミトロニクス事業

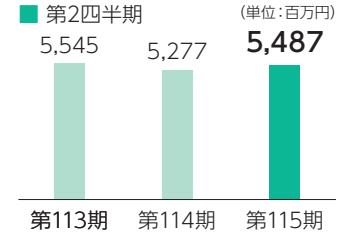
5,487 百万円 33.1 %

主要製品

合成樹脂塗料: プラスチック用塗料、プラスチック用水系塗料、非鉄金属用塗料、UV硬化塗料、触感塗料、真空蒸着用塗料

ケミトロニクス事業の売上高は前年同四半期比4.0%増の54億8千7百万円(総売上高の33.1%)となりました。

主力の自動車関連分野においては、国内海外共に既存の維持に加え、新規獲得が売上に寄与し、全体としては前年同四半期より微増となりました。情報家電関連分野は、国内において携帯電話、ノートパソコン向け販売は低迷が続いています。



コンポーネント事業

5,248 百万円 31.7 %

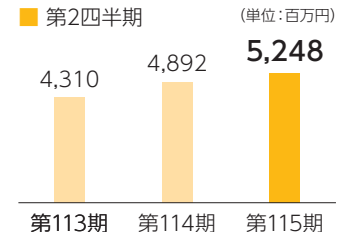
主要製品

半導体デバイス: 高速ダイオード、整流ダイオード、ショットキーバリアダイオード、サージ吸収素子等の半導体及びその複合モジュール

精密機構部品: ミニチュアベアリング、ワンウェイクラッチ、トルクリミッター、小型メカニカル製品及びその複合品

コンポーネント事業の売上高は前年同四半期比7.3%増の52億4千8百万円(総売上高の31.7%)となりました。

半導体デバイスは、環境対応車関連向けパワーデバイスや太陽光発電関連向けモジュールは堅調に推移しましたが医療機器・遊技機・デジタルスチルカメラの販売低迷により、売上高は前年同四半期比7.4%減の14億3百万円(総売上高の8.5%)となりました。



精密機構部品は、複写機・プリンタ関連とATMなど金融機器関連向け製品が需要増加により好調に推移したことに加え円安効果もあり、売上高は前年同四半期比13.8%増の38億4千4百万円(総売上高の23.2%)となりました。

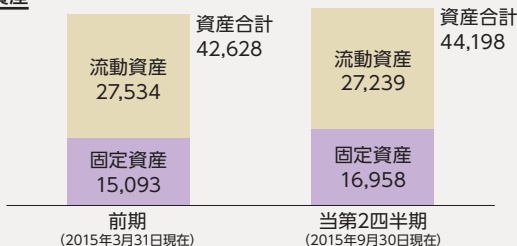
03 Financial Statements

連結財務データ

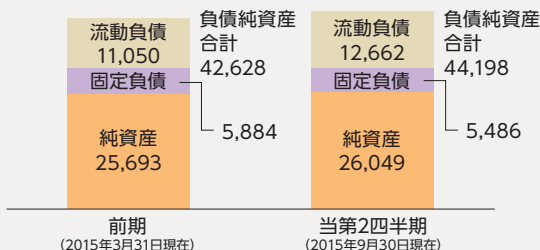
■ 四半期連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

資産

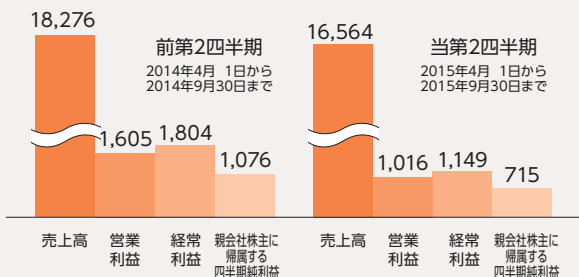


負債純資産



■ 四半期連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

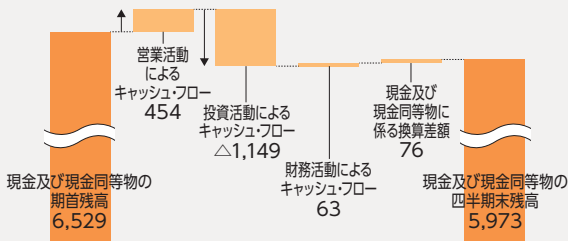


■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

当第2四半期

2015年4月1日から2015年9月30日まで



Electronics エレクトロニクス事業部

第4回目は「エレクトロニクス事業部」についてご説明いたします。

Q1 エレクトロニクス事業について解説してください。

当事業部は、創業の初期からの亜酸化銅、セレン整流素子等の製造を通して基礎技術を培い、育て上げて参りました電源機器の生産・販売を担っており、通信・産業系市場を中心に、半世紀以上の長きに渡り繰り返しのご愛顧と信頼を戴いております。

電源機器は、全ての電気機器へのエネルギーを安定して変換・供給する為に必要不可欠で、言わば心臓と言えるものです。健康時はその存在を意識することはあまりありませんが、一旦障害が発生して改めてその大切さを実感するものではないでしょうか。

当社の電源機器は、その高い効率、安定性の特徴に加え、お客様よりの種々のご要望に最適マッチ出来るカスタム設計を強みにして、高度な信頼性・保守性を要求される生活・生命に関わる通信・医療や安定した高精細加工が必要となる半導体製造装置等の重要機器の心臓として社会を支えております。

Q3 エレクトロニクス事業の課題と今後の取り組みについて教えてください。

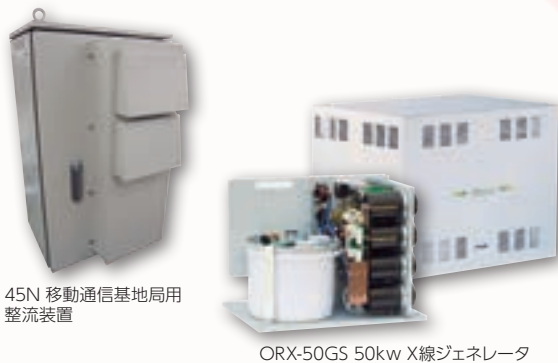
現在当社の電源機器の用途は生活・生命に関わる重要なインフラ系市場中心である為、国内のお客様が主体となっており、わが国の人口減少傾向、来る東京オリンピック後の国内需要等の縮小が懸念され、また地球環境維持に向けエネルギー問題への関心、改善期待が更に高まる社会情勢により、主に下記の取り組みをして参ります。

1. アジア圏を主とした海外市場・顧客及び生産・調達でのグローバル化の推進
2. スマート・エネルギー市場での拡販に向けた新商品の開発、及び既納品に対する効率改善提案等を推進
3. システム化ソリューションによる付加価値と商機の拡大

Q2 電源機器に活かされている技術力について教えてください。

1. ライフラインを支える重要機器を止めない技術
接続した停電対策用の蓄電池との組合せにより、常時マイコン等による監視・制御により、万が一の停電発生時に瞬時の自動切換えで重要機器の停止を防ぎます。
また不測の電源機器自体の異常が負荷を含む周囲に波及しないように、予備ユニットの装備や各種の自動保護機能を備えています。
2. 超高精細加工を実現する高安定度技術
半導体素子の高密度化には高精細加工が必要ですが、弊社の世界トップレベルの高安定度な高圧電源がエレクトロニクス市場の進歩に貢献しています。
3. 負荷のパフォーマンスを高めるカスタム技術
電源機器により性能・寿命が左右される負荷では、単純に出力するだけではお客様の大切な負荷の実力を全う出来ないケースは少なくありません。当社の長年のカスタム技術によりパフォーマンスを最大限に引き上げることが可能になります。

代表する電源装置



本社及び本社工場を移転しました。

この度、当社は業務の更なる効率化を図ることを目的として本社及び本社工場を下記の通り移転いたしました。

2015年11月2日完全移転完了により、当社は本社さいたま新都心オフィス及び本社事業所を埼玉県さいたま市に構え、心機一転新たなスタートを切りました。

また、新たに吉見工場の新設、間々田工場内に新棟を立ち上げました。皆さま方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本社さいたま新都心オフィス
＜営業並びに、管理部門の統括拠点＞



本社事業所
＜エレクトロニクス事業部、メカトロニクス事業部の技術開発拠点＞



吉見工場
＜エレクトロニクス事業部の新規生産拠点＞



間々田工場8号棟
＜メカトロニクス事業部の新棟＞



株式の状況

(2015年9月30日現在)

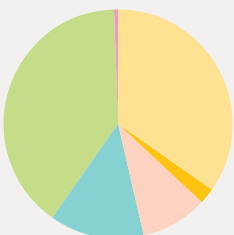
発行可能株式総数.....133,000,000株
 発行済株式の総数.....33,499,931株
 株主数.....5,151名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,880	5.63
株式会社みずほ銀行	1,656	4.96
オリジン電気協力会持株会	1,590	4.77
明治安田生命保険相互会社	1,513	4.53
株式会社りそな銀行	780	2.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	705	2.11
トアア再保険株式会社	606	1.82
みずほ信託銀行株式会社	523	1.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	503	1.51
JUKI株式会社	479	1.44

出資比率は自己株式(120,832株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況(株式数別)



金融機関	11,704,185株	34.94%
金融商品取引業者	756,187株	2.26%
その他の国内法人	3,123,968株	9.32%
外国法人等	4,431,604株	13.23%
個人その他	13,363,155株	39.89%
自己名義株式	120,832株	0.36%

株主メモ

証券コード 6513
 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 3月31日
 その他必要があるときは、あらかじめご告知いたします。
 配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 単元株式数 1,000株
 公告方法 電子公告にて行います。
 (公告掲載URL <http://www.origin.co.jp/koukoku/>)
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

単元未満株式をご所有の株主様へ

ご所有されている株式のうち、単元未満株式(1,000株未満の株式)につきましては、市場で売買することができません。その代わりに、当社に対して単元未満株式を売却する「買取請求」または単元未満株式が1,000株(1単元)となるよう株式を購入する「買増請求」をすることができます。詳細につきましては、口座を開設されているお取引証券会社等にお問い合わせください。なお、特別口座にて株式をお持ちの株主様は、特別口座管理機関のみずほ信託銀行にお問い合わせください。

会社概要

(2015年11月2日現在)

会社設立年月日 昭和13年5月1日 資本金 6,103,252,996円
 代表者 代表取締役社長 妹尾一宏 従業員数 727名

主要な事業所
 本社さいたま新都心オフィス ☎ 048(755)9711(代表)
 〒330-6013 埼玉県さいたま市中央区新都心11番2号
 明治安田生命さいたま新都心ビル13階
 本社事業所 ☎ 048(755)9011(代表)
 〒338-0823 埼玉県さいたま市桜区栄和3丁目3番27号
 間々田工場 ☎ 0285(45)1111
 〒329-0211 栃木県小山市暁3丁目10番5号
 瑞穂工場 ☎ 042(557)4111
 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2丁目3番地11
 吉見工場 ☎ 0493(59)9333
 〒355-0156 埼玉県比企郡吉見町大字長谷字八幡1915
 大阪支店 ☎ 06(6345)8866
 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1丁目11番4-800
 大阪駅前第4ビル812号
 名古屋支店 ☎ 052(569)1771
 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目15番1号
 名古屋ダイヤビルディング2号館7階
 台湾支店 ☎ 886-3(332)6665
 (日商歐利生電気股份有限公司 台湾分公司)
 台湾桃園縣桃園市復興路110号9階(中央信託大樓)
 北海道オリジン株式会社(北海道三笠市)
 埼玉オリジン株式会社(埼玉県比企郡吉見町)
 東邦化工工業株式会社(東京都足立区)
 上海欧利生東邦塗料有限公司(中国上海市)
 欧利生塗料(天津)有限公司(中国天津市)
 欧利生東邦塗料(东莞)有限公司(中国東莞市)
 欧利晶精密機械(上海)有限公司(中国上海市)
 オリジン・イーンソン・ペイント株式会社(タイ国バンコク市)

取締役・監査役及び執行役員

(2015年9月30日現在)

代表取締役社長	妹尾一宏	常勤監査役(社外)	津吹茂
取締役常務執行役員	篠原信一	常勤監査役(社外)	光内俊雄
取締役上席執行役員	高木克征	常勤監査役	佐藤信人
取締役上席執行役員	源島康広	執行役員	榎本富士男
取締役執行役員	門脇賢	執行役員	大河原正之
取締役執行役員	樋口淳一	執行役員	石田武夫
取締役執行役員	戸塚晶一	執行役員	宮内公平
取締役執行役員	山本誠司	執行役員	琴寄正彦
取締役(社外)	高田忠美	執行役員	篠原清

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口・・・ 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行なっていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取扱いいたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
 お問合せ先・・・ 〒168-8507
 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)
 お取扱店・・・ みずほ証券
 本店および全国各支店、プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
 みずほ信託銀行
 本店および全国各支店
 未払配当金のお支払・・・ みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ銀行 本店および全国各支店
 (みずほ証券では取次のみとなります)



お問い合わせ: 〒330-6013
 埼玉県さいたま市中央区新都心11番2号
 明治安田生命さいたま新都心ビル13階
 ☎ 048-755-9711(代表)